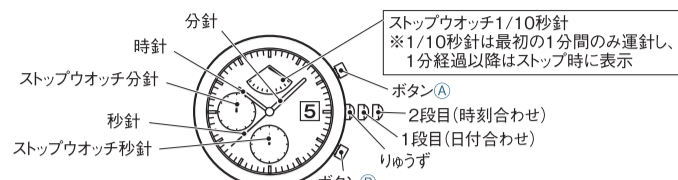


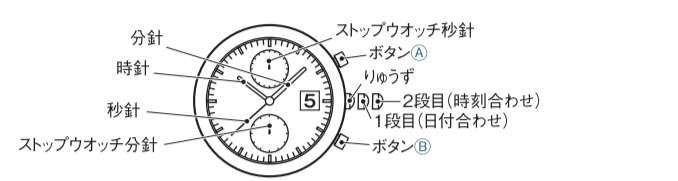
この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。また、お問い合わせもお願い申し上げます。
 なお、この説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。
 ※金属(水)の腐食は、お買い上げ店にご依頼ください。ご際着、ご転居などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、弊社お客様相談窓口へ依頼ください。
 お買い上げ店以外では有料もしくはお取扱いの出来ない場合があります。保証期間内での電池交換は有料となります。
 ※お買い上げ時の電池は、機能や性能を検査するための電池(モニター電池)です。保証期間内での電池交換は有料となります。
 ※商品に傷防止用の保護フィルムがはられている場合があります。必ずお買い上げ時にお取り外し、はらえたままにしておくと、汚れ、汗、ゴミ、水分などが付着しやすくなる原因となります。

■各部の名称とはたらき

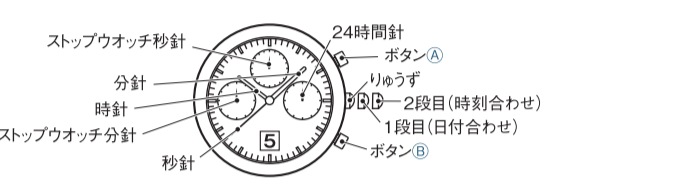
●VD50



●VD51



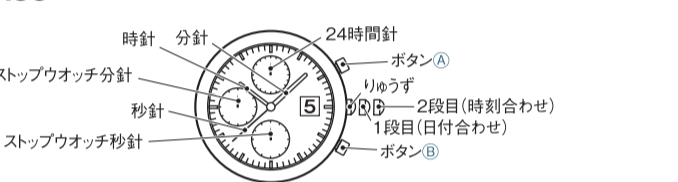
●VD52



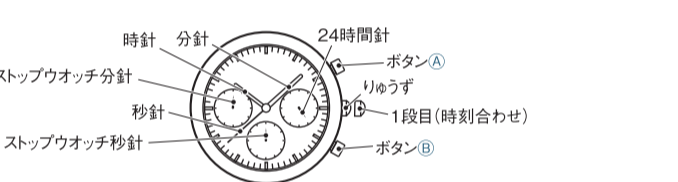
●VD53・VR32・VR34



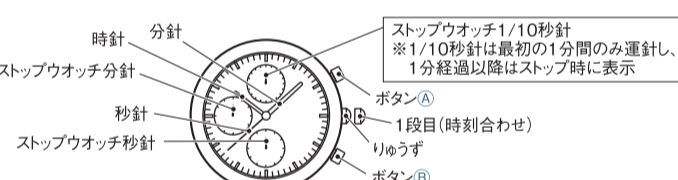
●VR33



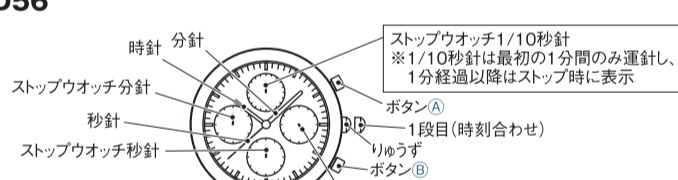
●VD54



●VD55



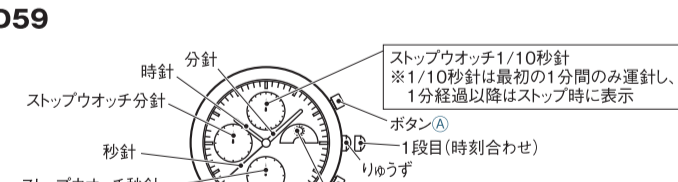
●VD56



●VD57

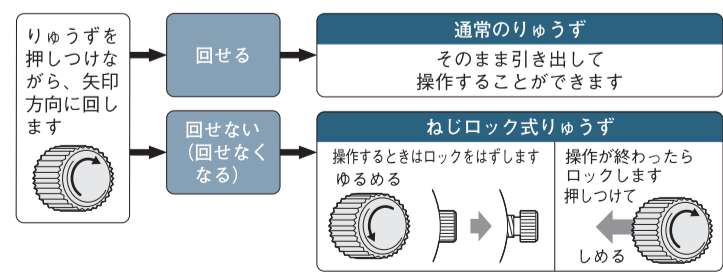


●VD59



■りゅうずについて

りゅうずには、通常のものとロックできる構造のもの、2つのタイプがあります。お使いの時計のりゅうずをご確認ください。

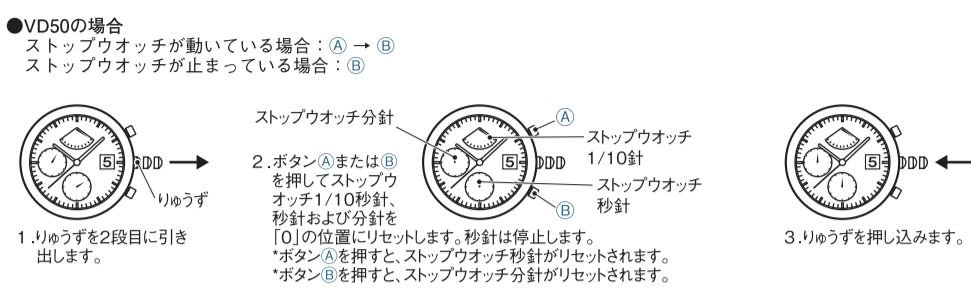


※ねじロック式りゅうずは、ロックすることで、誤操作の防止と防水性の向上をはかることができます。※ねじロック式りゅうずは、ねじを無理にしめるとねじ回をくわすおそれがありますので、ご注意ください。

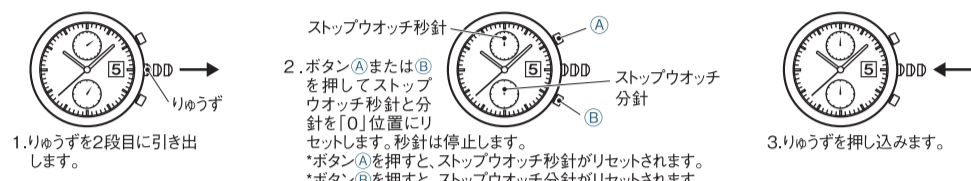
■ご使用方法

＝ストップウォッチ針のリセット方法＝

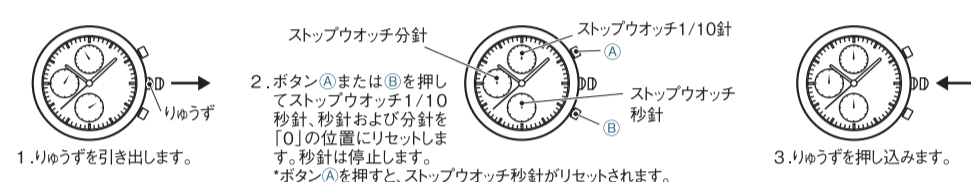
●時刻をセットする前に、ストップウォッチ針が「0」(12時)の位置にあるかどうかを確認してください。
 ※ストップウォッチの使用中には、次の順番でボタンを押して、リセットしてから、針が「0」の位置に戻っていることを確認してください。
 ※ストップウォッチ針のいずれかが「0」位置にない場合、以下の手順に従ってリセットしてください。



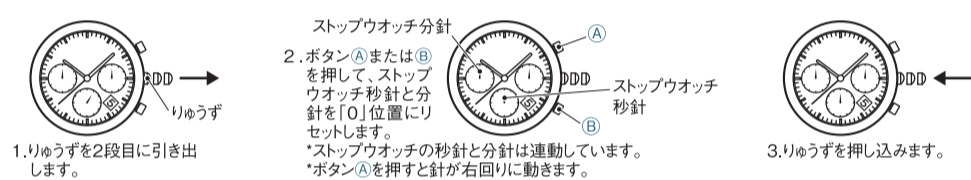
●VD51・52・53・54の場合
 ストップウォッチ針が動いている場合：A → B
 ストップウォッチ針が止まっている場合：A → B
 スプリットタイムが表示されている場合：B → A → B



●VD55・56・57・59の場合
 ストップウォッチ針が動いている場合：A → B
 ストップウォッチ針が止まっている場合：B
 スプリットタイムが表示されている場合：B → A → B

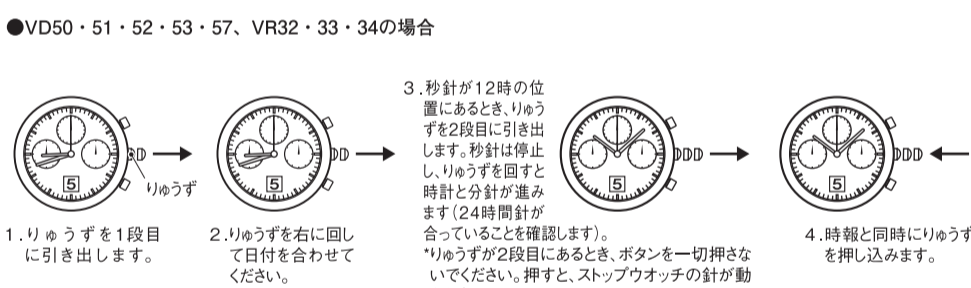
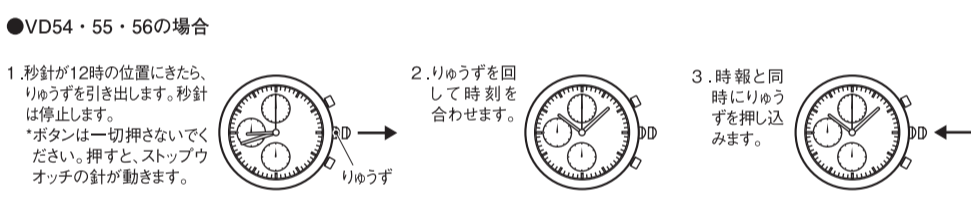


●VR32・33・34の場合
 ストップウォッチ針が動いている場合：A → B
 ストップウォッチ針が止まっている場合：B
 スプリットタイムが表示されている場合：B → A → B

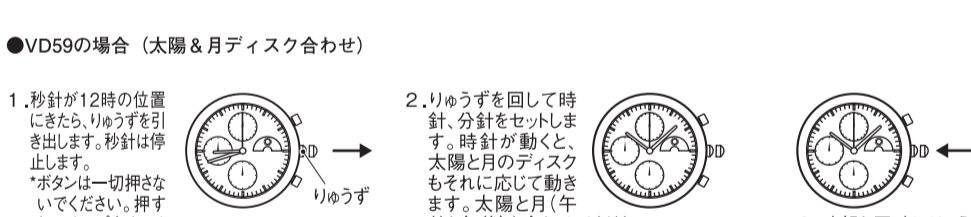


＝時刻・日付の合わせかた＝

●時刻をセットする前に、ストップウォッチ測定が停止していることを確認してください。



●VD59の場合 (太陽 & 月ディスク合わせ)

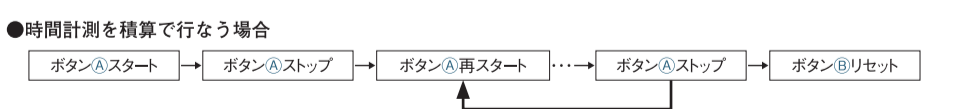


■ストップウォッチの使い方

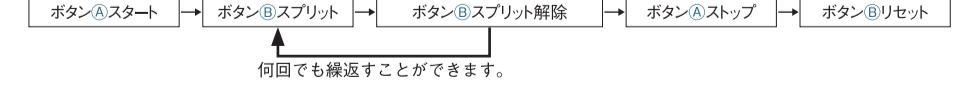
●ストップウォッチは時計とは別に独立して計測します。



●通常の使用方法



●時間計測を積算で行なう場合



●途中経過 (スプリットタイム) を計測する場合 ※一部機種にはご使用できません。



●2人のタイムを計測する場合 ※一部機種にはご使用できません。

■製品の仕様

1.水品振動数	32,768Hz (Hz=1秒間の振動数)										
2.精度	平均月差±20秒 (気温5℃～35℃において腕につけた場合)										
3.作動温度範囲	-5℃～+50℃										
4.表示内容	VD50	VD51	VD52	VD53	VR32-VR34	VR33	VD54	VD55	VD56	VD57	VD59
時刻(時・分・秒)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日付	○	○	○	○	○	○	なし	なし	なし	○	太陽・月
24時間計	なし	なし	○	○	○	○	○	○	○	○	なし
1/10クロノグラフ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
秒クロノグラフ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
分クロノグラフ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ストップウォッチ位置調整機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スプリット機能	なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5.駆動方式：ステッピングモーター式	3	3	3	2	2	2	2	3	3	3	3
6.電池寿命	2	2	2	2	3	3	2	2	2	2	2
7.使用電池	小型酸化銀電池 (SR920SW)：1個										
8.電子回路	CMOS-LSI：1個										
9.仕様	※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。										

■使用上の注意とお手入れについて

▲警告

- 次のような場合、ご使用を中止してください。
 - 時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
 - バンドのピンが飛び出してきた場合
- ※すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご連絡ください。
- ・乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください。部品や電池を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。
- ・電池の交換には専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。電池は充電しないでください。破裂・発熱・液漏れ・破損などのおそれがあります。
- ・この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には絶対使用しないでください。スキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要な過酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバースウォッチをご使用ください。

▲注意

- 以下の場所での携帯・保管は避けてください。
 - 揮発性の薬品が発散しているところ (除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど)
 - 5℃～35℃から外れる温度に長時間なるところ
 - 高湿度なところ
 - 磁気や静電気の影響があるところ
 - ホコリの多いところ
 - 強い振動のあるところ
- ※電池式の場合は、電池が切れた状態で長時間放置しないでください。電池が漏液するおそれがあります。
- ・アレルギーやかぶれを起こした場合はただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。
- ・直接蛇口から水をかけることは避けてください。水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になるおそれがあります。
- ・水分のついたまま、りゅうずボタンを操作しないでください。時計内部に水分が入ることがあります。※万が一、ガラス内面にもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください。
- ・水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください。防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化やステンレスがさびるにより、防水不良になるおそれがあります。
- ・入浴やサウナの際はご使用を避けてください。蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることがあります。
- ・その他のご注意
 - 商品の分解・改造はしないでください。
 - 乳幼児に時計が触れないようご注意ください。ケガやアレルギーをひき起こすおそれがあります。
 - 使用済み電池の処理は自治体の指示に従ってください。
 - 掲げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンの取り扱いにご注意ください。衣類や手、首などを傷ついたり、首を締めたりするおそれがあります。

●耐磁気性能について (磁気の影響)

・この時計は、身近にある磁気の影響を受け、時刻が狂ったり止まったりします。

裏ぶた表示	お取扱方法
耐磁気性能表示なし	磁気性能より10 cm以上遠ざける必要があります。
	磁気性能より5 cm以上遠ざける必要があります。(JIS 1種)
	磁気性能より1 cm以上遠ざける必要があります。(JIS 2種)

磁気を帯びたことが原因で、携帯使用時の精度めやす範囲を超えている場合、磁気の除去および精度の再調整作業は、保証期間内にかかわらず有料とさせていただきます。
 この時計が磁気の影響を受ける理由
 内蔵されているモーターは磁石を使用しており、外からの強い磁気の影響を受けます。



●お手入れについて
 日ごろからこまめにお手入れしてください。
 ・りゅうずを引き出して洗わないでください。
 ・水や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。
 ・海水につけた後は、必ず真水でよく洗ってからふき取ってください。その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。※非防水・日常生活防水の場合はおやめください。
 りゅうずは時々回してください。
 ・りゅうずのさびつきを防止するために、時々りゅうずを回してください。
 ねじロック式りゅうずの場合も同様です。

●防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を下記の表でご確認の上ご使用ください。

裏ぶた表示	防水性能	お取扱方法
防水性能表示なし	非防水です。	水漬がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないで下さい。
WATER RESISTANT	日常生活用防水です。	日常生活での「水がかかる」程度の環境であれば使用できます。 ▲警告 水泳には使用しないで下さい。
WATER RESISTANT 5 BAR	日常生活用強化防水です。	水泳などのスポーツで使用できます。
WATER RESISTANT 10 (20) BAR	日常生活用強化防水で10 (20)気圧防水です。	空気ポンプを使用しないスキューバダイビングで使用できます。

●バンドについて
 バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、お手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

金属バンド

- ・ステンレスバンドも水や汗・汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
- ・手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
- ・水や汗・汚れは、早めに柔らかい布でふき取ってください。
- ・バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかい歯ブラシなどで取り除いてください。(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。) 残った水分は柔らかい布でふき取ってください。
- ・チタンバンドでも、ピン類には強度に優れたステンレスが使用されているものがあり、ステンレスからさびが発生することがあります。
- ・さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留が外れなくなることがあります。
- ・万が一、ピンが飛び出した場合は、怪我をするおそれがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。

皮革バンド

- ・水や汗、直射日光に弱く、色落ちや劣化の原因になります。
- ・水がかかったときや汗をかいた後は、すぐに乾いた布などで、吸い取るように軽くふいてください。
- ・直接日光にあたる場所には放置しないでください。
- ・色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
- ・時計本体は日常生活用強化防水10 (20) 気圧防水になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、水泳・水仕事などでのご使用はお控えください。

ポリウレタンバンド

- ・光で色があせたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
- ・特に半透明や白色・淡い色のバンドは、他の色を吸着しやすく、また変色をおこします。
-